

**校正ユニット  
(シングルワイヤーモニター用)**

**MODEL: 98220 取扱説明書**

文書番号 TBJ-2082

**DESCO ASIA**

DESCO JAPAN 株式会社

## <はじめに>

この度は、校正ユニット(シングルワイヤーモニター用)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品は、作業場の常時モニターの校正プロセスを簡素化するための装置です。本製品のご使用により、テスターが仕様範囲内で作動しているかどうかを素早く簡単に確認できます。本製品は電源が不要です。



## ご注意

- (1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれ等お気づきの事がありましたら、ご連絡下さい。

## <梱包内容>

本体	1台
ワニ口クリップ	1個
スタッキングスナップアダプター	1個
バナナプラグ/ワイヤーアダプター	1個
校正証明書	1部
取扱説明書(本紙)	1部

## <校正テスト手順>

本製品は、特に DESCO 製品の機器用として作られています。下記の手順を踏むことにより、特定のテスト機器の校正を行うことができます。この手順によってテスト機器の調整を行うことはできません。DESCO 製品のテスターにおける仕様調整の詳細は、[お客様サービス](#)にお問い合わせください。

## <常時モニターの校正>

常時モニターは、下記商品をご利用いただけます。

品番	入力電圧
<a href="#">19325</a>	100VAC

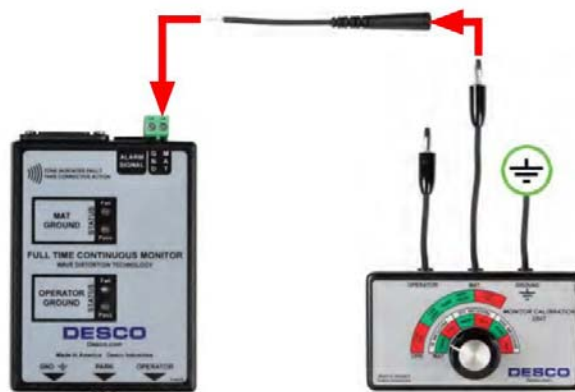
## 作業回路のテスト

1. 本体の“GROUND”テストリードを接地ポイントに接続します。
2. 本体の“OPERATOR”テストリードを常時モニターの”OPERATOR“ジャックに差し込みます。
3. 本体の選択つまみを反時計回りいっぱいまで回してからテストを始めます。作業回路をテストする際は、校正ユニットの最初の4つの制限のみでテストしてください。選択つまみを“LOW FAIL”の位置に合わせます。モニターの“OPERATOR GROUND”の赤 LED が点灯し、アラーム音が鳴るはずですが。
4. 選択つまみを時計回りに回し、緑の“LOW LIMIT”に合わせます。モニターの“OPERATOR GROUND”の緑 LED が点灯するはずですが。
5. 選択つまみを時計回りに回し、緑部分の一番端の“HIGH PASS”に合わせます。モニターの“OPERATOR GROUND”の緑 LED が点灯したままになっているはずですが。
6. 選択つまみを時計回りに回し、“HIGH FAIL”に合わせます。モニターの“OPERATOR GROUND”の赤 LED が点灯し、アラーム音が鳴るはずですが。
7. モニターから校正ユニットを取り外してください。



## マット回路のテスト

1. 本体の“GROUND”テストリードを接地ポイントに接続します。
2. リストコードをモニターの“OPERATOR”ジャックに差し込み、反対側を PARK に留めます。こうすることにより、校正中のリストバンド未装着によるアラーム音を停止させます。
3. 本体の“MAT”のテストリードに付属のバナナプラグ/ワイヤーアダプターを接続します。
4. 本体の選択つまみを“MAT FAIL 10M”に合わせます。モニターの“MAT GROUND”の赤 LED が点灯し、アラーム音は鳴るはずですが、この段階では鳴りません。
5. 選択つまみを反時計回りに回し、“MAT PASS 10M”に合わせます。モニターの“MAT GROUND”の緑 LED が点灯するはずですが、この段階では鳴りません。



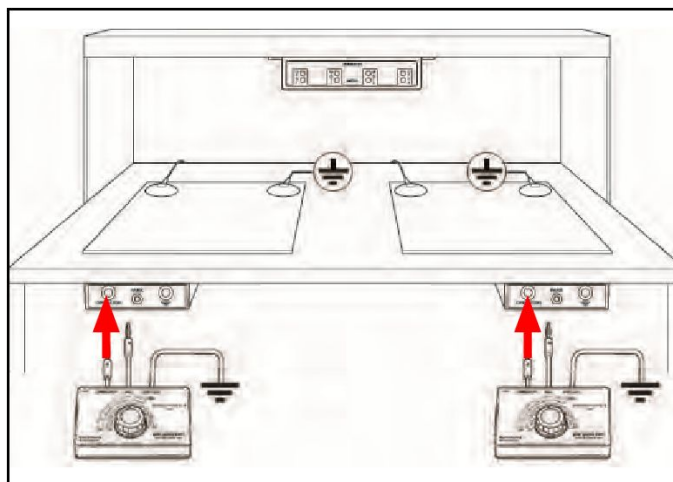
## <リモート付き 2 人用常時モニターの校正>

リモート付き 2 人用常時モニターは、下記商品をご利用いただけます。

品番	入力電圧
<a href="#">19246</a>	100VAC
<a href="#">19247</a>	220VAC

## 作業回路のテスト

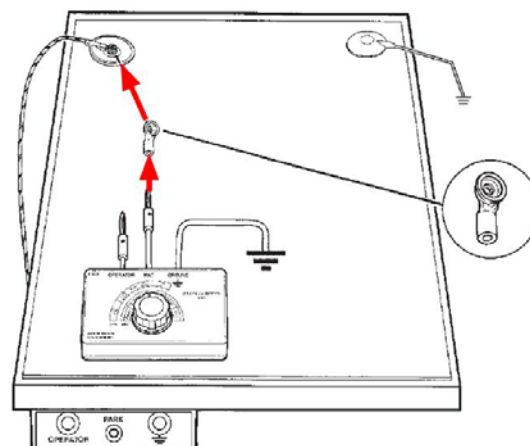
1. 本体の“GROUND”テストリードを接地ポイントに接続します。
2. 本体の“OPERATOR”テストリードをリモートの“OPERATOR”ジャックに差し込みます。
3. 本体の選択つまみを反時計回りいっぱいまで回してからテストを始めます。作業回路をテストする際は、校正ユニットの最初の4つの制限のみでテストしてください。選択つまみを“LOW FAIL”の位置に合わせます。対応しているモニターの“OPERATOR GROUND”の赤 LED が点灯し、アラーム音が鳴るはずですが、この段階では鳴りません。
4. 選択つまみを時計回りに回し、緑の“LOW LIMIT”に合わせます。対応しているモニターの“OPERATOR GROUND”の緑 LED が点灯するはずですが、この段階では鳴りません。
5. 選択つまみを時計回りに回し、緑部分の一番端の“HIGH PASS”に合わせます。対応しているモニターの“OPERATOR GROUND”の緑 LED が点灯したままになっているはずですが、この段階では鳴りません。



6. 選択つまみを時計回りに回し、“HIGH FAIL”に合わせます。対応しているモニターの“OPERATOR GROUND”の赤 LED が点灯し、アラーム音が鳴るはずですが。
7. リモートから校正ユニットを取り外してください。
8. もう一つのリモートでも同じ手順を繰り返します。

### マット回路のテスト

1. 本体の“GROUND”テストリードを接地ポイントに接続します。
2. リストコードをリモートの“OPERATOR”ジャックに差し込み、反対側を PARK に留めます。こうすることにより、校正中のリストバンド未装着によるアラーム音を停止させます。
3. 本体の“MAT”のテストリードに付属のスタッキングスナップを接続します。リモートをマットとの接続から外し、校正ユニットのスナップを接続しなおします。



注:スタッキングスナップは接地されたマットから独立していなければなりません。

4. 本体の選択つまみを“MAT FAIL 10M”に合わせます。対応しているモニターの“MAT GROUND”の赤 LED が点灯し、アラーム音がなるはずですが。
5. 選択つまみを反時計回りに回し、“MAT PASS 10M”に合わせます。対応しているモニターの“MAT GROUND”の緑 LED が点灯するはずですが。
6. もう一つのリモートでも同じ手順を繰り返します。

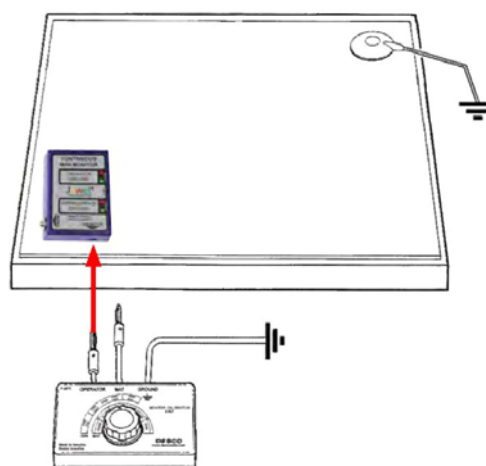
### <ミニ常時モニターの校正>

ミニ常時モニターは、下記商品をご利用いただけます。

品番	入力電圧
<a href="#">19218</a>	100VAC

### 作業回路のテスト

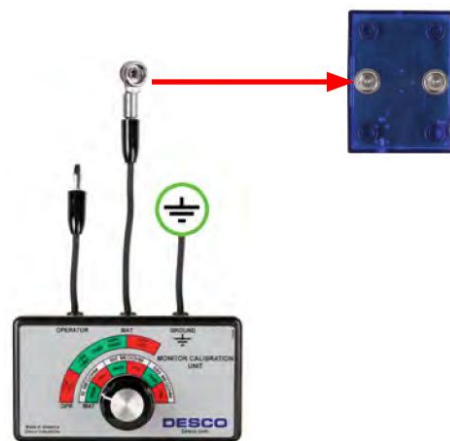
1. 本体の“GROUND”テストリードを接地ポイントに接続します。
2. 本体の“OPERATOR”テストリードをミニ常時モニターの“OPERATOR”ジャックに差し込みます。
3. 本体の選択つまみを反時計回りいっぱいまで回してからテストを始めます。作業回路をテストする際は、校正ユニットの最初の4つの制限のみでテストしてください。選択つまみを“LOW FAIL”の位置に合わせます。モニターの“OPERATOR GROUND”の赤 LED が点灯し、アラーム音が鳴るはずですが。



4. 選択つまみを時計回りに回し、緑の“LOW LIMIT”に合わせます。モニターの“OPERATOR GROUND”の緑 LED が点灯するはずですが、点灯しない場合は、モニターを再起動してください。
5. 選択つまみを時計回りに回し、緑部分の一番端の“HIGH PASS”に合わせます。モニターの“OPERATOR GROUND”の緑 LED が点灯したままになっているはずですが、点灯しない場合は、モニターを再起動してください。
6. 選択つまみを時計回りに回し、“HIGH FAIL”に合わせます。モニターの“OPERATOR GROUND”の赤 LED が点灯し、アラーム音が鳴るはずですが、鳴らない場合は、モニターを再起動してください。
7. モニターから校正ユニットを取り外してください。

### マット回路のテスト

1. 本体の“GROUND”テストリードを接地ポイントに接続します。
2. リストコードをモニターの“OPERATOR”ジャックに差し込み、反対側を PARK に留めます。こうすることにより、校正中のリストバンド未装着によるアラーム音を停止させます。
3. 本体の“MAT”のテストリードに付属のスタッキングスナップを接続します。リモートをマットとの接続から外し、校正ユニットのスナップを接続しなおします。  
注:スタッキングスナップは接地されたマットから独立していなければなりません。
4. 本体の選択つまみを“MAT FAIL 500M”に合わせます。モニターの“MAT GROUND”の赤 LED が点灯し、アラーム音が出るはずですが、音が出ない場合は、モニターを再起動してください。
5. 選択つまみを反時計回りに回し、“MAT PASS 500M”に合わせます。モニターの“MAT GROUND”の緑 LED が点灯するはずですが、点灯しない場合は、モニターを再起動してください。



### <多機能常時モニターの校正>

多機能常時モニターは、下記商品をご利用いただけます。

品番	入力電圧	リストストラップ
<a href="#">19228</a>	100VAC	付属なし
<a href="#">19229</a>	100VAC	付属あり
<a href="#">19234</a>	220VAC	付属なし
<a href="#">19236</a>	220VAC	付属あり

### 作業回路のテスト

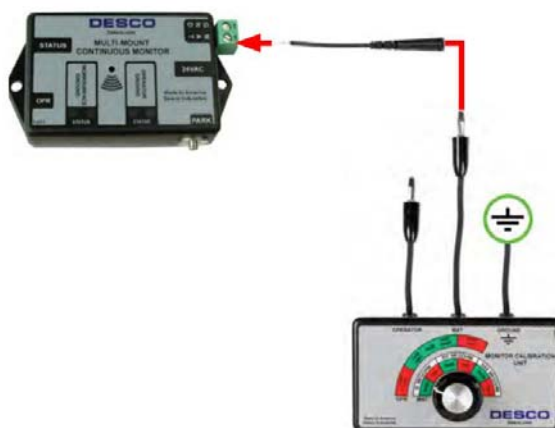
1. 本体の“GROUND”テストリードを接地ポイントに接続します。
2. 本体の“OPERATOR”テストリードを多機能常時モニターの“OPERATOR”ジャックに差し込みます。
3. 本体の選択つまみを反時計回りいっぱいまで回してからテストを始めます。作業回路をテストする際は、校正ユニットの最初の4つの制限のみでテストしてください。選択つまみを“LOW FAIL”の位置に合わせます。モニターの“OPERATOR GROUND”の赤 LED が点灯し、アラーム音が鳴るはずですが、鳴らない場合は、モニターを再起動してください。



4. 選択つまみを時計回りに回し、緑の“LOW LIMIT”に合わせます。モニターの“OPERATOR GROUND”の緑 LED が点灯するはずですが。
5. 選択つまみを時計回りに回し、緑部分の一番端の“HIGH PASS”に合わせます。モニターの“OPERATOR GROUND”の緑 LED が点灯したままになっているはずですが。
6. 選択つまみを時計回りに回し、“HIGH FAIL”に合わせます。モニターの“OPERATOR GROUND”の赤 LED が点灯し、アラーム音が鳴るはずですが。
7. モニターから校正ユニットを取り外してください。

### マット回路のテスト

1. 本体の“GROUND”テストリードを接地ポイントに接続します。
2. リストコードをモニターの“OPERATOR”ジャックに差し込み、反対側を PARK に留めます。こうすることにより、校正中のリストバンド未装着によるアラーム音を停止させます。
3. 本体の“MAT”のテストリードに付属のバナプラグ/ワイヤーアダプターを接続します。アダプター先端のワイヤーをモニターの“MAT”端子に差し込みます。
4. 本体の選択つまみを“MAT FAIL 10M”に合わせます。モニターの“MAT GROUND”の赤 LED が点灯し、アラーム音になるはずですが。
5. 選択つまみを反時計回りに回し、“MAT PASS 10M”に合わせます。モニターの“MAT GROUND”の緑 LED が点灯するはずですが。



### <仕様>

重 さ : 192g

寸 法 : 11.4cm (縦) x 6.4 cm (横) x 3.0cm (高さ)

注:本製品は販売中止となった下記 DESCO 商品の校正にもご利用いただけます。

#### 常時モニター

19210/19211/19225/98210/98211

#### リモート付き 2 人用常時モニター

19208/19209/19230/19231/19232/19233/19237/19238/98207/98208

#### ミニ常時モニター

19212/19213/19214/19215/19216/19217

#### 多機能常時モニター

19220/19221/19222/19223/19226/19227/98225/98226/98227/98228

〈校正〉

必要な試験器具 : RLC メーター  
 設定 : 50Hz 用、周波数 = 1,000 Hz (20 x 50)、調波 20 倍  
 60Hz 用、周波数 = 1,000 Hz (17 x 60)、調波 17 倍  
 機能スイッチを「同等並列回路」と出るよう設定

98220 マット抵抗値測定のために必要な試験器具の追加 :  
 メガー (絶縁抵抗計) : 基準 V の設定 = 50V 以下 又は  
 デジタル式電圧抵抗計 : 50V 電源

データの記録 :

シリアルNo.	下限合格		下限不合格		上限合格		上限不合格	
	容量	損失係数	容量	損失係数	容量	損失係数	容量	損失係数

98220 の場合の記録 :

シリアルNo.	マット合格	マット不合格	(MΩ @50V)

下記の仕様と比較 :

品番 98220 校正検証ユニットの仕様

	同等並列回路	損失要因
下限不合格	138.9 pF	0.158
下限合格	118.6 pF	0.367
上限合格	49.0 pF	0.445
上限不合格	44.7 pF	0.192

公差=±10%

マット

	合格 MΩ	不合格 MΩ	(V 測定~50)
10 マット	8	12	
100 マット	80	120	
500 マット	400	600	

公差=±4%



## 保証規定

本製品は、米国 DESCO Industries Inc. 社により製造され、日本国内の販売、保守、サービスは、DESCO JAPAN 株式会社を担当するものです。

本製品が万一故障した場合は、製品購入後一年以内については無料で修理調整を行います。ただし、以下の項目に該当する場合は、上記期間内でも保証の対象とはなりません。

- (1) 取扱説明書以外の誤操作、悪用、不注意によって生じた故障。
- (2) 当社以外で行われた修理、改造等による故障。
- (3) 火災、天災、地変等による故障。
- (4) 使用環境、メンテナンスの不備による故障。

保証の対象となるのは、本体で付属品、部品等の消耗は、保証の対象とはなりません。

\* 本保証は、上記保証規定により無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

\* 本保証内容は、日本国内においてのみ有効です。

機器に明らかなる不良がある場合については、下記内容を当社にご連絡下さい。

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1) 機種名または、品番       | 4) ご購入年月日       |
| 2) 製品シリアルナンバー      | 5) 御社名、部署名、担当者名 |
| 3) 不良内容(できるだけ具体的に) | 6) 連絡先          |

以上の内容を検討致し返却取扱ナンバーを御社に連絡致します。製品を返却する場合は、返却取扱ナンバーを製品に添付してご返却下さい。

返却ナンバーが表示されていない場合は、保証の対象とならない場合があります。

# DESCO ASIA

DESCO JAPAN 株式会社

〒289-1115

千葉県八街市八街ほ 661-1

Tel: 043-309-4470 Fax: 043-332-8741

<http://www.descoasia.co.jp/>